

第5回「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」 議事録

日時：2015年3月23日（月） 10-12時

場所：工学院大学新宿キャンパス 28階第4会議室

出席者（順不同・敬称略）： 安田、久田、増田、村上、中村、小林、大井、後藤、高田、
山下、佐藤、山本、大原（文責）

資料

1. 議事次第
2. 議事録（案）
3. 委員会名簿
4. 2015年度委員会活動計画案
5. 日本地震工学会特集号論文募集のお知らせ
6. 第2回震災対策技術展（大阪）のご案内
7. SIP「巨大都市・大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発
8. 新宿駅周辺エリアを対象とした中心市街地における災害対応能力向上のための教育訓練プログラムの開発報告書(H26年度)
9. 工学院大学総合研究所都市減災研究センター 最終成果報告会のご案内
10. 北千住地区における地盤関係の被害の可能性について
- 11-1. 大都市の自然災害危険度指数に関する考察と展望
- 11-2. スマートシティ・セミナーのご案内
12. 本委員会の活動報告会（案）

議事録：

1. 前回の議事録確認
 - ・前回の出席者については要確認
2. 報告事項
 - ・平成27年度委員会活動計画及び日本地震工学会論文集特集号の計画を確認した。
 - ・5月22日（金）14:00-19:00に日本地震工学会総会・交流会が予定されている。
 - ・6月5日（金）13:00-16:30に第2回震災対策技術展（大阪）が予定されている。
 - ・2月の震災対策技術展（横浜）では、パネル展示を行った。
 - ・11月19-20日に日本地震工学会年次大会（東京）が予定されている。

3. 研究活動紹介

3. 1 北千住地区における地盤関係の被害の可能性について（安田会長、資料 10）

- ・北千住地区において、PL 値及び国土交通省による戸建て住宅の被害に合う新たな指標を用いて液状化危険性の判定を行った結果、地表面最大加速度が 300-350gal で、液状化の発生が増加した。道路におけるマンホールの浮き上がり量を推定する方法も開発したい。北千住地区にある綾瀬川の堤防については、地震時に決壊する危険性を考えておく必要がある。

3. 2 大都市の自然災害危険度指数及び近年の取組みの紹介（増田委員、資料 11）

- ・ミュンヘン再保険会社の指数がよく知られているが、指標について十分な理解をした上で参照する必要がある。例えば、本指数は、「災害」「脆弱性」「経済価値」を別々に点数化し、最後に乗算を行って定量化したものである点に注意する必要がある。また、新宿区西富久町で、情報を集約し、住民・来街者と共有するための総合モニタリングシステムの開発・導入を行っている。

4. 審議事項

- ・5月に活動報告会を予定している。（5月の午後4時間程度、新宿または北千住にて）
候補日：6月3日（水）、4日（木）、9日（火）
- ・次回：4月30日（木）午後、5月1日（金）午後、8日（金）
話題提供候補：小林先生、古屋先生
- ・11月の年次大会でオーガナイズドセッション「巨大都市における地震・水害等による複合災害対策の現状と課題」を企画予定である。
- ・2016年3月に最終報告会の開催、最終報告会の刊行予定である。

以上



写真：会議の様子